

平成 30 年 7 月 31 日

倉敷市真備地区廃棄物収集運搬の災害支援 2 日目。

今日は、真備東中学に向かってほしいと倉敷市からの依頼を受け 8 時 30 分から作業を行いました。

真備東中学で倉敷市の担当者からの依頼により、交野市から派遣されているゴミ収集車 2 台は、2 手に分かれ真備公民館に集められた廃棄物の収集作業と、箭田（やた）小学校付近の廃棄物の収集を行いました。

箭田（やた）小学校付近の廃棄物の収集では自衛隊、倉敷市などの指示により作業を行ないましたが、仮置き場の混雑状況等から、機動力のあるゴミ収集車で作業している私たちは、倉敷市の担当者と協議し時間効率などを考慮し、作業に手間を要している真備公民館へ向かい、既に朝から真備公民館の収集を行っていた車両と合流し作業にかかりました。

真備公民館では、自衛隊と京都市、高松市の災害廃棄物収集運搬支援のゴミ収集車と共に作業を行いました。私たちも真備地区の地理に詳しくなってきた影響もあり、仮置き場までの移動もスムーズに行うことができるようになりました。

その成果もあり、ゴミ収集車で廃棄物を収集し、仮置き場まで 6 往復する事ができました。今回の交野市のゴミ収集車は、3.5 トン積載と 2 トン積載のゴミ収集車になりますので、6 回の収集で 35 トン近くの被災ゴミを運搬できたこととなります。

被災された地域の方が、真備公民館に持ち込まれた大量のゴミを効率よく収集運搬し、自衛隊の皆さんとの連携もスムーズに行うことができたので、真備公民館の被災ゴミは、今日の作業で全て運ぶことができました。

自衛隊の皆さんとの作業で効率よく連携できたことが真備公民館の収集作業の完了に繋がったと思います。

自衛隊の皆さんと作業を進める中、災害支援についても貴重な意見を戴くことができましたし、ゴミ収集の手法や効率については、我々に対しても質問を受けました。

廃棄物の収集運搬の被災地支援を行う中で、自衛隊の皆さんと実際に作業を行いながらの意見交換は、私たち交野市職員にとって災害対応時に必要な大変貴重な知識と経験となります。この真備地区での経験全てが勉強になります。

被災地には、まだまだ沢山の廃棄物がありますが、今日の真備公民館のように 1 か所でも多く被災ゴミを撤去し、地域の皆さんの力になれるよう明日以降も頑張ります。

交野市環境部環境事業課

倉敷市真備地区災害廃棄物収集運搬支援派遣隊 竹中 良人